

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		ハッピーテラス門真教室			公表日	2026年 3月 7日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・人数によって机の数や配置の工夫をしている ・内容によって部屋を分けて使用することもある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・子どもの特性に合わせて出勤する職員を決めている	・今より少ない人数で対応できる日もある。人件費的にまだ削る余地がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・入室禁止、靴の着脱の場など視覚支援を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日清掃を行い、清潔に保てるようにしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・指導のみでなく、利用者（生徒）の要望で個室相談を受ける等の対応もしている	・調子を崩した時に落ち着ける場として静養室を設けているが、元気な時にも入室する子どもがいるため、使用に改善が必要だと考える
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・出勤している職員が多い日に会議を行っている ・会議を定期的に行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・毎年評価表で意向を聞き、可能な限り改善に向けて取り組んでいる	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・職員が意見を言いやすい環境になるよう心がけている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	・本部によるチェックを定期的に受けている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・内外問わず研修の案内をしている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・本部から提供されている支援プログラムを基に、当事業所の環境や利用者に合わせて検討してプログラムを作成している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・個々の子どもについて、事例を基に度々話し合い、共有もなされている ・丁寧な聞き取り、観察を心がけて、ニーズや課題を把握して計画を立てている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・職員に聞き取りをしながら計画作成をしている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・個別支援の際は、毎回子ども一人一人の支援計画を職員みんなで確認している ・回覧やミーティングで確認をすることで、共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・主に利用開始時にアセスメントツールを用いてアセスメントを行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・本人支援に力を入れがちなため、その他の支援を充実させることが課題である	・家族支援や地域支援・連携については、まだ改善の余地があると思います
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・定期的に会議を行い、活動プログラムを相談・検討している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・毎月ミーティングで大きな計画を立てるとともに、1日ごとの利用者に合わせて計画も立てている ・いろいろな内容を会議で考えている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・集団活動と個別活動の組み合わせによって、いろいろな側面から適切な支援を行えるようにしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・集団での活動、個別支援について話し合う時間の両方を毎日設けている ・内容、担当など細かく話し合いをしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・振り返りは翌日になることが多いが、必ず行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・適切な長さで読みやすく正確な記録を心がけている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・必要に応じてモニタリングを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	・主に「自立支援の日常生活の充実のための活動」と「創作活動」「余暇の提供」を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・個々の特性を考慮して選択の範囲を広げ、自己決定の機会を持てるようにしていると思う ・活動への強制は行わず、参加したくなる活動を心がけている・不参加を選択する自由も認めている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・児童発達支援管理責任者を中心に参加するが、その他の職員が参画することもある	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・必要に応じて連携を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	5	・送迎を行っていないため基本的には行っていないが、必要に応じて情報共有をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・必要に応じて行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	・必要に応じて行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	・必要に応じて行っている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	・地域の子どもとの交流は今後の課題である	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	・地域の協議会などには積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送り迎えだけでなく、LINEや電話などで連絡をとり、情報共有を心がけている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		・開催頻度が減っているため、参加しやすい曜日や時間帯、内容を検討して開催していきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・利用開始時に丁寧な説明を心がけて行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・丁寧な聞き取りを心がけている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・面談でニーズや様子を共有しながら計画を作成し、説明している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・必要に応じて面談をする機会を設けている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4	・保護者がつながる場を求められた場合にはそのような場について情報提供を行っている	・1人で悩んでいる保護者(特に母親)が気兼ねなく話せ「共感し合える」場があるとよいと考える
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・保護者などの意見を聞いた時には適切に対応するよう心がけている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・SNSで活動の様子などを発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・職員の研修を行うなどして取り扱いに注意を払っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・丁寧に情報共有するよう心がけている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		・地域との交流は今後の課題である
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・定期的に訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・研修、訓練を定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	・利用開始時や状況が変わった時に確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・指示書の確認はしていないが、保護者からの情報を共有して対応を徹底している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・研修、訓練を定期的に行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・避難所などの情報を教室に掲示している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・該当事項が起こった時は共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・定期的に研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・必要に応じて保護者に説明して同意している		